

役員紹介

当期の取締役並びに監査役と執行役員をご紹介します。なお、新任役員は青色で表示しております。



取締役

- ① 金本 寛中 代表取締役会長
- ② 金本 哲男* 代表取締役社長・営業統括本部長
- ③ 成田 仁志* 業務部長
- ④ 金本 龍男* レンタル事業部長・レンタル事業部北海道地区統括部長・鉄鋼事業部管掌
- ⑤ 平田 政一* レンタル事業部副事業部長・特販部長
- ⑥ 磯野 浩之* 経理部長・事務センター管掌
- ⑦ 長崎 学* (株)ニシケン代表取締役社長
- ⑧ 麻野 裕一* 債権管理部長
- ⑨ 橋口 和典* 人事部長・事業開発室長
- ⑩ 内藤 進 社外取締役
- ⑪ 及川 雅之 社外取締役
- ⑫ 米川 元樹 社外取締役

監査役

- ⑬ 金本 栄中 常勤監査役
- ⑭ 横田 直之 常勤監査役
- ⑮ 橋本 昭夫 社外監査役
- ⑯ 直井 院 社外監査役
- ⑰ 生島 典明 社外監査役
- ⑱ 松下 克則 社外監査役



執行役員

- ⑲ 熊谷 浩 情報システム部長
- ⑳ 問谷 悟 レンタル事業部部長・(株)カンキ代表取締役社長
- ㉑ 北川 健 海外事業部副事業部長・PT KANAMOTO INDONESIA 代表取締役社長
- ㉒ 渡部 純 広域特需営業部長・ニュープロダクツ室管掌・(株)KGフローテクノ代表取締役社長
- ㉓ 佐藤 信幸 営業企画部長
- ㉔ 中谷 秀樹 内部統制監査室長・業務改善推進室長
- ㉕ 廣瀬 俊 総務部長・秘書室長・広報室長
- ㉖ 山下 英明 海外事業部長

(注1) *印の取締役は、執行役員を兼任しております。(注2) 役職名は当社におけるもののみを記載しており、一部兼務役職を省略しております。

Photo Report 各地で進む復興工事



岩手県宮古市の水門復旧工事



岩手県大船渡市の防潮堤改築工事



岩手県上閉伊郡大槌町の河川復旧工事



宮城県気仙沼市の気仙沼湾横断橋上部工事



宮城県石巻市の大沢川河川改修工事



宮城県仙台市の岸壁耐震改良工事



宮城県本吉郡南三陸町の河川改修工事



福島県相馬市のLNG基地建設工事



福島県南相馬市の防潮堤工事



福島県双葉郡双葉町の護岸復旧工事

第55期第1四半期決算の概況 [2018年11月1日～2019年1月31日]

● 連結経営成績

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)
第55期第1四半期	44,126 (4.4)	3,913 (△27.1)	4,010 (△27.7)	2,482 (△27.5)	64.30
第54期第1四半期	42,264 (8.5)	5,370 (19.6)	5,543 (14.3)	3,422 (9.4)	96.84

● 連結業績予想(累計)

第55期第2四半期	89,700 (5.1)	11,100 (1.0)	11,200 (0.4)	7,000 (3.9)	181.31
第55期通期	175,700 (4.5)	18,400 (4.5)	18,700 (4.3)	12,000 (1.2)	310.81

(注) 括弧内の数字は、前年同期増減率(%)を示しております。

[経営環境]

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益を背景に雇用環境の改善が続くなど景気は緩やかな回復基調を維持しました。しかしながら、長期化する米中貿易摩擦の影響や中国経済成長の鈍化をはじめとする世界経済の下振れ懸念から、外需産業を中心に企業収益の減速感が見られました。

当社グループが関連する建設業界におきましては、国土強靱化計画による公共投資の底堅さに加え、民間設備投資が増加するなど、国内建設投資は引続き堅調に推移しておりますが、建設資機材や人手の不足感から、資材価格や労務費等の建設コストの高騰が工事収益を圧迫しており、経営環境は厳しさが目立ってきました。

このような状況のなか、当社グループは、長期ビジョン「BULL55」(2015年度～2019年度)の最終年度を迎え、そこに示した国内営業基盤の拡充、海外事業の展開、内部オペレーションの最適化の3つの重点施策を進め、2020年度からの次期長期計画の基盤を形成すべく、体制構築に注力いたしました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は441億26百万円(前年同期比4.4%増)となりました。利益面につきましては、堅調な需要に応じて設備投資を増強したため、減価償却費負担が増加したこと等により、営業利益は39億13百万円(同27.1%減)、経常利益は40億10百万円(同27.7%減)、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億82百万円(同27.5%減)となりました。

なお、従来非連結子会社でありました(株)KGフローテクノとカ納磨拓

(中国)投資有限公司は、重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

[セグメント別の業績]

建設関連

主力事業である建設関連におきましては、建設需要の地域間格差が一部で顕在化したものの、東京五輪に関連する交通インフラ整備や大規模再開発工事などもあり、全体として建設機械のレンタル需要は底堅く推移しました。しかしながら、レンタル単価については、全国的に低い水準で推移しました。

また、当社グループでは、2018年に発生した大阪府北部地震、西日本豪雨、北海道胆振東部地震など自然災害の復旧・復興活動に対する支援体制強化のため、レンタル用資産の再配置や資産の増強など対応能力の充実に努めました。

なお、中古建機販売につきましては、前年同期は自社機の売却が多く、これによる収益増がありました。当期は期初計画どおりの売却を進めたことから、売上高は前期比69.5%減となりました。

以上の結果、建設関連事業の売上高は395億69百万円(前年同期比4.6%増)、営業利益は35億14百万円(同30.0%減)となりました。

その他

その他の事業につきましては、鉄鋼関連、情報通信関連、福祉関連ともに堅調に推移したことから、売上高は45億56百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益は2億95百万円(同18.0%増)となりました。

■ 連結財務諸表

四半期連結損益計算書（第1四半期連結累計期間）

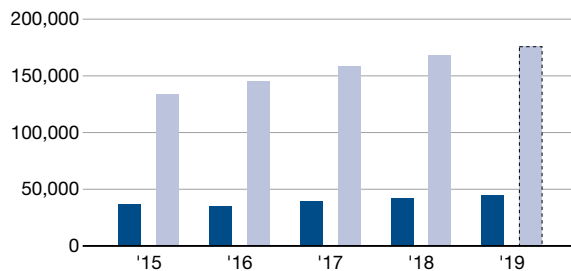
(単位:百万円)	第54期第1四半期 (2017.11.1~2018.1.31)	第55期第1四半期 (2018.11.1~2019.1.31)
① 売上高	42,264	44,126
売上原価	28,803	31,607
売上総利益	13,461	12,519
販売費及び一般管理費	8,091	8,605
② 営業利益	5,370	3,913
営業外収益	299	212
営業外費用	126	115
③ 経常利益	5,543	4,010
特別利益	3	35
特別損失	21	10
税金等調整前四半期純利益	5,525	4,035
法人税、住民税及び事業税	1,505	1,079
法人税等調整額	301	210
四半期純利益	3,718	2,746
非支配株主に帰属する四半期純利益	295	264
④ 親会社株主に帰属する四半期純利益	3,422	2,482

四半期連結包括利益計算書（第1四半期連結累計期間）

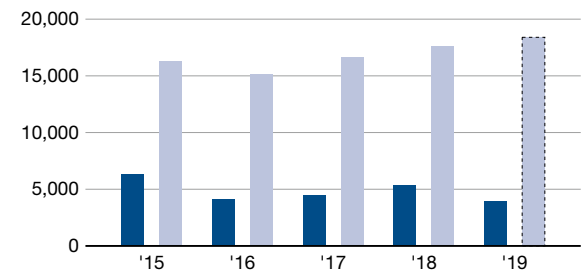
(単位:百万円)	第54期第1四半期 (2017.11.1~2018.1.31)	第55期第1四半期 (2018.11.1~2019.1.31)
四半期純利益	3,718	2,746
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 0	△ 273
繰延ヘッジ損益	0	△ 0
為替換算調整勘定	△ 19	△ 59
退職給付に係る調整額	△ 0	△ 0
その他の包括利益合計	△ 20	△ 333
四半期包括利益	3,697	2,412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,403	2,150
非支配株主に係る四半期包括利益	294	262

■ 第1四半期 ■ 通期 ■ 通期予想 単位:百万円

① 売上高



② 営業利益



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)	第54期 (2018.10.31)	第55期第1四半期 (2019.1.31)
(資産の部)		
流動資産	96,448	107,329
固定資産	144,926	149,182
有形固定資産	129,508	135,498
無形固定資産	1,580	1,519
投資その他の資産	13,837	12,164
資産合計	241,374	256,511
(負債の部)		
流動負債	74,267	76,248
固定負債	65,075	66,815
負債合計	139,342	143,064
(純資産の部)		
株主資本	93,526	105,756
資本金	13,652	17,829
資本剰余金	14,916	19,276
利益剰余金	67,086	68,659
自己株式	△ 2,129	△ 8
その他の包括利益累計額	2,153	1,822
その他有価証券評価差額金	2,148	1,876
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	-	△ 59
退職給付に係る調整累計額	5	5
非支配株主持分	6,351	5,868
純資産合計	102,031	113,447
負債純資産合計	241,374	256,511

とってもいいモノ 読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方のなかから、抽選で50名様にノベルティグッズをお贈りします。

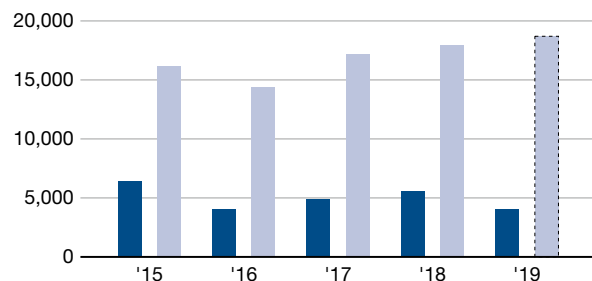
今号は「スプーン& フォークセット」をプレゼントします。会社説明会やイベントなどでも進呈している商品で、株主様や投資家の皆様にご好評いただいている当社オリジナルグッズです。

柄の表側にはおなじみのカナモト坊や、裏側にはそれぞれパーショベル（スプーン）とトラック（フォーク）の図柄が入り、「カナモトらしい」デザインとなっています。少し小ぶりのサイズなので、ケーキなどのデザート用として、あるいはお子さま用としてもお使いいただけます。



ご応募の締め切りは2019年5月17日（金）当日消印有効です。
なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

③ 経常利益



④ 親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

